

市民歌基本コンセプトに関する意見 (第1回制定委員会)

資料9

発言者	望まれる市民歌のイメージ			制作手法				その他
		歌詞内容	曲調	作詞		作曲		
委員	・子どもの心に残る歌 ・懐かしく、誇りを持てる歌	合併後の鶴岡市の豊かな内容に	旧市民歌のような童謡調では	鶴岡を理解してもらった上で、または理解している人に	委嘱			
委員	・応援歌のような励まされる歌 ・郷里を思い出せる歌 ・子どもの心に残る歌							歌う機会を作らないと歌い継がれていかない
委員	・みんなに親しまれる歌			フレーズを指定しないで公募を	公募			歌う機会を増やさないと定着しない
委員	・望まれる市民歌の例のうち「格調高い歌」以外の例で			鶴岡に精通の専門家はいないのでは	公募			
委員	・いつどこで歌っても聞いても情景が思い浮かんでくる歌	鶴岡の景色等が入った歌詞で						
委員	・鶴岡はこんなところなんだと全国の方にもわかる歌			作詞は地元の人の方が良いか	公募	桜井和寿氏に依頼し全国に鶴岡をアピール	委嘱	
委員	・笑顔あふれる歌 ・手拍子とれる明るく元気な歌			公募対象を子供まで広げて市民総参加で	公募		委嘱	
委員	・後々に歌い継がれる歌 ・子供から年寄まで親しまれる ・「格調高い歌」以外の例で	鶴岡が凝縮されている歌詞で	校歌のような合唱でも歌える歌					・旧市町村民歌は活かさなくても ・3番くらいまで
委員	・地域の自然とその恩恵を受け、伸びゆく姿を表現した歌	鶴岡全体のまとまりのある歌詞で						・3番くらいまで
委員	・長く歌われる普遍性がある歌 ・シンプルで歌いやすい歌 ・品格のある歌		クラシックの要素を持った歌	・公募にいいものが出てこないこともある ・繋ぎ合わせは平凡に				中田先生にも喜んでもらえる歌
委員	・小学生にも覚えやすい歌		聞いていて心地いい歌	フレーズを募集して専門家から繋ぎ合わせてもらう	公募 委嘱			